

環研センターNEWS

第12号

山形県環境科学センター
村山市楯岡笛田三丁目2-1
TEL 0237(52)3124
e-mail:kankyose@pref.yamagata.jp
編集 環境企画部
平成17年3月23日発行

2月26日(土)

自然環境学習を 考える交流会



県が発刊した「レッドデータブックやまがた」から明らかのように、本県でも多くの野生生物が絶滅の危機にあります。一方、学校における環境学習への取組は広がりつつありますが、自然環境をテーマとした取組は、企画・指導の難しさ等から限定的なものとなっているのが現状です。そこで、生物多様性の重要性を考えるとともに、実践されている先生方に話題を提供していただき、今後の自然環境学習の充実と推進のための方策を検討する交流会を開催しました。



大石田町立亀井田小学校
矢口 広道氏



新庄市立北辰小学校
荒川 弘子氏



山形市立第四中学校
松田 恭子氏

大石田町立亀井田小学校 矢口広道教頭先生

身近な自然にこだわった楽しい活動を通して、郷土の自然の豊かさを実感させ、郷土への愛着を深めたい！そこで、地元の祖母世代の方々に講師になってもらい、川に親しむ活動、ウグイや鮭の卵の観察、稚魚の放流、海谷湿地探検などの体験活動を行いました。

新庄市立北辰小学校 荒川弘子先生

たくさんの樹木があり、イバラトミヨが生息する指首野川が傍に流れる自然豊かな学校周辺の環境を活かし、環境学習に取り組みました。課題設定 観察・調査 意見交流 新たな課題設定・実践と身近な環境への学びの結果、子ども達が自主的に地域の保全活動に参加するようになりました。

山形市立第四中学校 松田恭子先生

身近な馬見ヶ崎川について学習を進め、清掃を行ったり、また総合学習でお世話になった地域の方々を招き「感謝祭」を行うなど、地域の方々と密着した様々な活動を行ってきました。活動を通して生徒たちの地域への愛着や、ものを大切にする気持ちも養われたようです。

県立米沢工業高等学校 高梨早苗先生・後藤武志先生

環境を幅広く多様な視点で捉えられる人間の育成を目標に、環境学習・環境保全活動を行っています。米沢市立上郷小学校と連携して、水質調査やネイチャーゲームなどの環境学習、エコアクションに取り組みました。小学生と一緒に活動することで、生徒たちの考え方や意識が柔軟になり、また、地域住民の環境に対する考え方も影響が表れてきました。



県立米沢工業高等学校
高梨 早苗氏
後藤 武志氏



交流会風景



「小見川塾シンポジウム」開催

2月20日(日)



県村山総合支庁が事務局となり、小見川の湧水環境を維持保全しながら、自然と地域産業との共存を目指し、地元・行政の関係者が集まり議論をする場「小見川塾」を設けています。

第5回目を記念して、去る2月20日に「小見川塾シンポジウム」が東根市で開催されました。秋田県立短期大学の神宮字寛氏の基調講演に続き、3つのリレー報告がありました。その中で、内水面水産試験場及び当センターが共同で取組んでいる「イバラトミヨ特殊型の生息実態調査」の結果について、その概要を報告しました。

イバラトミヨ特殊型の推定生息個体数、生息分布域、成長の速さ、水質・流速・植生当の好まれる生息・営巣環境等について報告しました。

2/5(土)
開催

やまがた環境スクールワークショップ 「さくらんぼ環境 ISO」ってなあに？



「さくらんぼ環境 ISO」とは、東根市教育委員会と東根市が独自に取り組み、認証している学校版環境 ISO のことです。東根市では今年度、ISO14001 更新認証登録を行ったほか、市内全小中学校がこの「さくらんぼ環境 ISO」に取り組んでいます。今回、この「さくらんぼ環境 ISO」を取り上げ、取り組みや子どもたちの反応、課題等について学び、これからの子どもたちや学校、さらには地域での環境保全活動への取り組みについて考えるワークショップを開催しました。



東根市市民環境課 滝口 真氏

「東根市環境衛生組合の取組について」
東根市環境衛生組合の取組や、環境 ISO の基本理念、具体的な活動内容、また市としての今後の課題などについてお話がありました。来年度は、さくらんぼ環境 ISO に続き、環境衛生組合が中心になり、地域版環境 ISO の推進に取り組んでいきます。

「東根小版環境 ISO の取組について」
東根小学校では環境 ISO キャラクターも考えたり、環境 ISO のコーナーを作って呼びかけたり、節電シールを貼ったり、児童、教職員とも、今自分にできることを考えて、環境 ISO の活動を頑張っています。取組を行ってから、電気代は昨年比で 13 万円も減ったそうです！



東根市立東根小学校 本間 あずさ氏

東根市立長瀬小学校 高嶋 さき子氏



「長瀬小学校環境 ISO 活動の取組」
長瀬小学校の基本方針や実践活動、また組織や推進計画についてのお話がありました。長瀬小では、学校だけでなく、家庭や地域にも環境保全の意識を広めようと、広報誌の発行にも取り組んでいます。

ワークショップ 「“協働”を推進するためのマップをつくらう」

奥山氏を進行役に、グループに分かれて、情報交換や課題の検討などを行いました。



閉会后、参加者からは「様々な立場の人の意見を聞くことができ、大変参考になりました。」「環境 ISO の取組は、未来を担う子どもたちに生きる力を育むために必要な活動だと、改めて感じました。」などの声が聞かれました。



県環境アドバイザー
奥山 和司氏

3 / 6

こどもエコクラブサポーター研修会

こどもエコクラブのサポーターが集まり、今年 1 年間の活動を振り返りながら、子どもたちと楽しみながら活動するための情報交換や活動する際の苦勞などを話し合いました。



はじめに NPO 法人「庄内エコ・プランニング」の斎藤安和さんより、こどもエコクラブの意義や伝えたい目的を持って活動すること、子どもたちを褒めてあげ達成感をもたせることの大切さ、等についてお話がありました。「子どもたちとの活動には工夫も必要、苦勞もある。しかし何と言っても子ども達の目がキラキラ輝くのが楽しみ。」と笑顔で語っていました。

その後、和やかな雰囲気の中、こどもエコクラブの活動していく上での楽しみや悩みを話し合ったり、情報交換をしたりしました。「色々な活動が知れてよかった。」「今後は各クラブとの交流会もしていきたい。」などの声が聞かれました。参加してくれたサポーターの皆さんは、今後の活動への意欲を新たに持ったようです。



～おしらせ～

3/26.27 に愛知県で「こどもエコクラブ全国フェスティバル」が開催されます。山形県からは「イオン山形南こどもエコクラブ」が代表で招待されました。会場では環境についてやさしく学べる催し物や展示が行われます。



ほっと NEWS

環境企画展「最上に残された貴重な自然」開催

昨年 12/19 に開催した「イバタミヨサミット」で、永幡嘉之さんと沢和浩さんより報告された、最上地方に今も残されている貴重な自然を、写真で紹介しています。ぜひお越しになりご覧ください。

「山形県河川水質マップ」完成

125 の学校や団体などの協力により、16 年度の「山形県河川水質マップ」が完成しました。必要な方は当センターまでご連絡ください。(0237-52-3124)



環境す・語録

「安全に配慮ができなかったらやる価値がない。やる意味もない。」

「イベントという活動は、やる方は、何をやるかではなく何を伝えるか、だと思っんです。伝える部分があると、きちんと参加者に伝わるように感じています。」

水土里ネットいなば 佐藤 友二氏

「食と環境教育」交流会にて。
活動する上で必要な 3 つのこと。(前号の続き)